

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施評価表

① 事業 NO	② 交付対象事業の 名称	③ 事業概要	④ 事業内容	⑤ 実績額 単位:千円	⑥ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑦ 外部有識者からの意見	⑧ 内部評価及び今後の方針について	
					指標	指標値	実績値		今後の方針	今後の方針の理由
1	津野町総合戦略 策定事業	「豊かな自然」と「貴重な地域資源」、「継承される文化」とこの地に暮らす「人材」との融合を図り、若者の定住と住民が誇りを持って暮らせるために雇用の創出等「津野町総合戦略」を策定するために、必要な調査等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●外部有識者会議/4回開催 ●特産品マーケティング調査 ●人口ビジョン、総合戦略策定 ●総合戦略本編・概要版作成(概要版全戸配布) 	2,182	—	—	—	予定どおり、総合戦略が策定されたため特に意見なし	予定通り事業終了	本事業により総合戦略を策定し、当初の予定どおり事業を終了した。
2	津野町地産地消・ 外商販売戦略事業	津野町には不整形かつ狭小な農地が多く、その経営規模は小規模兼業農家がほとんどである。しかしながら農業従事者は増加傾向にあり、小規模兼業農家向けの販路拡大策及び元気高齢者育成策として、町外直販所向け野菜栽培を推奨しており、町内集積場所までの集荷と営農指導を支援し、農家の労力軽減と売り上げの向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●津野町農産物直販所運営業務委託先: 津野町ふるさとセンター ○H26年実績 <ul style="list-style-type: none"> ・高知市瀬戸店 21,406,792円 ・高知市十津店 31,007,378円 計 52,414,170円 ○H27年実績 <ul style="list-style-type: none"> ・高知市瀬戸店 10,391,946円 ・高知市十津店 31,396,035円 計 41,787,981円 ※瀬戸店:H27.7月末規模縮小	2,500	高知市直販所販売額達成	67百万円 (H28.3)	42百万円 (H28.3)	観光連携による町内直販所の販売強化を図り、継続的に事業効果・検証が必要。生産指導と販路拡大の取組を強化する。	事業内容の見直し(改善)	直販所1店舗の施設老朽化による店舗縮小等のため、事業実施による十分な効果がなかったが、内容を改善する事により効果があがるものであると確認ができたため、改善等を検討しながら事業を継続する。
3	津野町総合的観光 戦略展開事業	津野町は自然豊かな町で四国カルストや四万十川源流点とともに、津野山古式神楽などの町外に誇れる伝統文化も継承されているが、町外からの認知度は低い。2016年には広域的観光イベント「奥四万十博」も開催されることから、観光による産業づくり、移住、定住、企業誘致にもつなげる戦略性を持った広報展開等を行うとともに、観光拠点天狗高原と唯一の施設「天狗荘」のブラッシュアップを図り、新たな雇用の創出と観光経済効果の向上に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> ●津野町観光パンフレット増刷 ●津野町ラジオ・CM番組制作放送 ●津野町内撮影等 ●天狗荘ブラッシュアップ(ホームページ改善、ポスター制作等) ○H26→H27年度実績 <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅 152,891人→150,398人 ・風の駅 48,596人→50,346人 ・山の駅 11,251人→11,697人 ・四国カルスト 50,904人→63,701人 計 263,642人→276,142人 	27,550	主要施設入込数増加	5,000人 (H28.3)	12,500人 (H28.3)	町外からの認知度向上は評価できる。継続的な進捗管理と観光による雇用創出と移住・定住へ向けての展開に努められたい。	追加等更に発展させる	観光プロモーションと情報発信を強化し、さらに県外からの誘客とインバウンド観光、近隣市町と連携した広域観光を拡充させる。
4	「奥四万十博覧会」開催による広域観光推進連携 事業	高幡5市町が連携して協議会を設置し、広域観光博覧会「奥四万十博」を開催、地域イベントや観光ガイドの組織化、体験型観光プログラムの開発・磨き上げ、博覧会の契機とした新たな住民参加の取組の企画・実行	<ul style="list-style-type: none"> ●「奥四万十博推進協議会」への博覧会開催準備経費(広域観光博覧会の開催に係る広報、誘客活動、インフォメーションセンターの設置、イベント開催費、臨時職員の人件費及び事務) 	8,636	博覧会開催準備 宿泊施設利用者数増加 主要観光施設入場者数増加 各種イベントの来客数増加	実施 10% 20% 20%	実施済 H28年度末評価 H28年度末評価 H28年度末評価	地域の民間団体及び5市町連携のもとで、広域観光博覧会「奥四万十博覧会」の開催の向け、観光客の受け入れ体制が完了した。	事業の継続	「奥四万十博覧会」の開催を通じて県内外での情報発信やプロモーションを集中的に実施するとともに、さらなる認知度の向上と観光客の受け入れ体制の強化につなげる。